

私ほそだ伸一は、市川市の写真家田中正文氏とその活動を応援しています。

今年は、300万人以上の日本人が亡くなった「太平洋戦争」終戦から71年。

市川市には、この戦争で失われた尊い命を「陽の当たるところへお連れしたい」と、深い海底や真っ暗な洞窟に命がけで進入し、慰霊・調査する写真家があります。その人、田中正文さんは、「たいせつなのは、何ができるかではない。何をしようとするかだ」と言います。

8月15日の「終戦記念日」を前に、我々が暮らす今の日本の礎となって散華された先人の方々に感謝し追悼するとともに、戦争が起こった頃の世界がどんな世界だったか、そして今の世界がどんな世界なのか知り、太平洋戦争とは何だったのか、平和とは何かということを考えてみませんか。

「戦争の傷痕から 平和を見つめる」 写真展



パラオ共和国の海に沈むゼロ戦(零式艦上戦闘機 52型)

- 日時：7月30日(土)・31日(日) 9時～18時(31日は17時終了)
 - 会場：市川市文化会館 地下展示室 [入場無料]
 - 主催：「戦争の傷痕から平和を見つめる」写真展実行委員会
 - 後援：市川市、市川市教育委員会
- ◆<http://ww2relics.jp/index.html>



【田中正文氏プロフィール】

1959年生まれ。市川学園幼稚園、八幡小学校卒。

「経済界」を経て作家・写真家として独立。

著書に「パラオ 海底の英霊たち」、「洞爺湖物語」、「すいぞくかんものがたり」など。

写真展は、大和ミュージアム(呉市)、相田みつを美術館(千代田区)、ホノルルコンベンションセンター(ハワイ州)、立命館大学国際平和ミュージアム(京都市)など多数。

(社)日本写真家協会(JPS)会員。

- ◆田中正文氏は、(財)市川市文化振興財団により「市川文化人」として紹介されています。
<http://www.tekona.net/pr/interview/05.php>



ほそだ伸一 事務所

〒272-0031 市川市平田 2-19-8-101

【TEL】047-371-3257 【携帯】090-7227-2107

【e-mail】hosodashinichi0316@gmail.com

HP <http://www.ほそだ伸一.com>

fb <https://www.facebook.com/shinichi.hosoda.16>



ほそだ伸一へ
メールする